## 第12回. 曲線の長さ (三宅先生の本, 3.4の内容)

岩井雅崇 2021/07/06

## 1 曲線の定義と曲線の長さ

定義 1.

$$C: [a,b] \rightarrow \mathbb{R}^2$$

$$t \longmapsto (x(t),y(t))$$

が 滑らかな曲線とは次の2条件を満たすこと.

- x(t), y(t) 共に [a, b] 上の  $C^1$  級関数.
- 任意の  $t \in (a,b)$  について、速度ベクトル  $(x'(t), y'(t)) \neq (0,0)$  である.

滑らかな曲線Cに関してその長さを

$$l(C) = \int_a^b \sqrt{(x'(t))^2 + (y'(t))^2} dt$$
 とする.

定理 2. f(x) を [a,b] 上の  $C^1$  級関数とする. このとき y=f(x) のグラフ  $C=\{(x,f(x))\mid a\leq x\leq b\}$  の長さは

$$l(C) = \int_a^b \sqrt{1 + (f'(x))^2} dx$$
 である.

例 3. 放物線  $y=x^2(0 \le x \le 1)$  のグラフの長さを求めよ.

(答.)  $f(x) = x^2$  とすると f'(x) = 2x のため、曲線の長さは

$$\int_0^1 \sqrt{1 + (2x)^2} dx = \int_0^1 \sqrt{1 + 4x^2} dx = \frac{1}{2} \int_0^2 \sqrt{1 + t^2} dt$$
$$= \frac{1}{4} \left[ t \sqrt{t^2 + 1} + \log \left| t + \sqrt{t^2 + 1} \right| \right]_0^2$$
$$= \frac{1}{4} \left( 2\sqrt{5} + \log \left( 2 + \sqrt{5} \right) \right)$$

定理 4.  $[\alpha, \beta]$  上の  $C^1$  級関数  $f(\theta)$  を用いて, 曲線 C が

$$\begin{array}{ccc} C: & [\alpha,\beta] & \to & \mathbb{R}^2 \\ & \theta & \longmapsto & (f(\theta)\cos\theta, f(\theta)\sin\theta) \end{array}$$

と表されているとき, C の長さは

$$\int_{lpha}^{eta} \sqrt{(f( heta))^2 + (f'( heta))^2} d heta$$
 である.

例 5. (アルキメデスの螺旋) 正の実数  $a, \alpha$  について

$$\begin{array}{ccc} C: & [0,\alpha] & \to & \mathbb{R}^2 \\ & \theta & \longmapsto & (a\theta\cos\theta, a\theta\sin\theta) \end{array}$$

とする. 曲線 C の長さを求めよ.

(答.)  $f(\theta) = a\theta$  とすると  $f'(\theta) = a$  のため, 曲線の長さは

$$\int_0^\alpha \sqrt{a^2+(a\theta)^2}d\theta = a\int_0^\alpha \sqrt{1+(\theta)^2}d\theta = \frac{a}{2}\left(\alpha\sqrt{\alpha^2+1} + \log\left(\alpha+\sqrt{\alpha^2+1}\right)\right)$$

## 2 演習問題

演習問題の解答は授業の黒板にあります.

1. 正の実数 a,b について  $f(x)=a\cosh\frac{x}{a}-a$  とする. グラフ  $C=\{(x,f(x))\mid 0\leq x\leq b\}$  の長さを a,b を用いて表せ.